

公認アーチェリーコーチ2
資格概要

2019年4月1日現在

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 公益社団法人全日本アーチェリー連盟		
養成目的		地域スポーツクラブ、都道府県協会傘下の協会、スポーツクラブ(少年団)などにおいて、年齢・競技レベルに応じた実技指導に当たるとともに、アーチェリー教室などの企画立案に参画できる指導者を養成する。		
役割		年齢・競技レベルに応じた指導に当たるとともに、地域スポーツクラブが実施するスポーツ教室や各種イベントの事業計画の立案に参画する。地域スポーツクラブ都道府県協会傘下の協会代表チームの監督、コーチとしてチームをまとめ、競技者能力を発揮できるように指導に当たる。		
養成講習会に係る内容	受講条件		受講年度の4月1日現在満22歳以上で、アーチェリー経験3年以上の者。(公社)全日本アーチェリー連盟会員登録者であること。アーチェリーコーチ1を取得、或いは取得見込みの者	
	受講科目	共通科目	共通科目Ⅱ(135h)	
		専門科目	アーチェリー専門科目(20h) ※別紙カリキュラム表参照	
	受講料	共通科目	共通科目Ⅱ:16000円(税抜)※別途リファレンスブック代:3000円(税抜)	
		専門科目	競技団体によって別途定める	
		スタートコーチ	円()	
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する	
専門科目		<ul style="list-style-type: none"> ■講習会 JSPO指定の共通科目の履修、及び都道府県アーチェリー協会(連盟)が主管する専門科目講習会への全日程に参加のこと。 ■検定試験 専門科目の全日程参加者を対象に、(公社)全日本アーチェリー連盟が実施する。 ■審査 (公社)全日本アーチェリー連盟指導者育成委員会(兼普及部)において、専門科目の全日程確認、及び検定試験の結果により、専門科目の修了者をJSPOに報告する。 ■免除要件 以下の者は、カリキュラムの一部を免除することができる。 1.(公社)全日本アーチェリー連盟公認1級又は2級審判員有資格者 基礎理論④(1.5h) 2.消防庁普通救命救急講習又は日本赤十字社救急法基礎講習修了者 実技①(3h) 3.前年度又は当該年度の本連盟主催の指定講習会の全日程に参加した者 基礎理論①、指導実習①②の集合講習分(計5.5h) 		
登録に係る内容	登録料(4年間)		基本登録料:10,000円	
			資格別登録料:5,000円	
			初期登録手数料(初回登録時のみ):3,000円	
更新登録要件		資格有効期限の6か月前までに、最低1回は、(公社)全日本アーチェリー連盟が定める研修会又はJSPO(都道府県体育協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。		
特記事項				

公認アーチェリーコーチ2

2019年4月1日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 基礎理論	①	コーチの役割と選手の育成	1.50 h	0.00 h	1.50 h
	②	国民体育大会について(ふるさと制度の確認)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	③	選手の健康指導(ドーピング、栄養指導、スポーツ障害の予防)	3.50 h	0.00 h	3.50 h
	④	競技規則とフェアプレー	1.50 h	0.00 h	1.50 h
	⑤	所属協会・部活動等の運営	1.50 h	0.00 h	1.50 h
	小 計		9.00 h	0.00 h	9.00 h
② 実技	①	救急救命講習	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	②	弓具、射場の整備	1.50 h	0.00 h	1.50 h
	小 計		4.50 h	0.00 h	4.50 h
③ 指導実習	①	指導計画の作成と評価	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	②	講習会等での指導実践	2.50 h	0.00 h	2.50 h
	③	アーチェリーのための体力トレーニング	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	小 計		6.50 h	0.00 h	6.50 h
			20.00 h	0.00 h	20.00 h